

患者の皆様へ

2017年12月18日

血液内科

現在、血液内科では、「多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2001年1月から2016年12月に当院で多発性骨髄腫と診断された患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「多発性骨髄腫に関する多施設共同後方視的調査研究」

2. 研究の意義・目的

「多発性骨髄腫は近年新規薬剤の登場により、以前に比べて患者さんの予後が著しく改善しています。本研究では我が国における多発性骨髄腫患者さんに対する治療内容とその成績を解析し、最適な治療戦略を確立することを目的としています」

3. 研究の方法

「2001年1月1日から2017年12月31日の間において、診療録に記載されている生年月日、年齢、病歴、検査結果、治療内容、治療効果、病気の転帰について情報を収集します」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学血液研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化された本研究のデータは研究事務局である日本骨髄腫学会事務局（群馬大学大学院医学系研究科血液内科学内）に収集されたのち、研究分担者である尾崎修治（徳島県立中央病院血液内科）に送付され、データは施設下で保管するなど、十分な安全管理措置を講じ適正に管理されます。対応表は当科の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

研究責任者：村上博和 群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座

研究分担者：尾崎修治徳島県立中央病院 血液内科（データ保管・解析）

研究分担者：半田 寛群馬大学医学部附属病院 血液内科（統計解析）

研究事務局：日本骨髄腫学会事務局（群馬大学大学院医学系研究科血液内科学内）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 血液内科

医師 塚田恵美子

043 (222) 7171 内線5259 (血液研究室)

研究代表機関 : 群馬大学大学院保健学研究科 生体情報検査科学講座

研究代表者 : 村上博和